



だいせんちょう
鳥取県大山町

ビジネス部門

山口

島根

★鳥取

広島

岡山

若者の活躍

女性の活躍

雇用

愛媛

香川

徳島

高知

のうぎょうせいさんほうじん かぶしきがいしゃでいーずぷらんにんぐ
No.1 農業生産法人 株式会社D'sプランニング

～若者が活躍する持続可能な農業法人への挑戦～



日々切磋琢磨し、頑張っています！



ロゴが大きく入った制服。周囲の評判も◎

取組経緯

○地元で生まれ育った2人の若者が、「高齢化が進む地域に何か恩返し」と平成23年に農業を開始(農業外参入)。その後、地元で若者を雇用する場があれば県外への流出も地元の産業も守れるのではと考えるに至り、平成27年に「株式会社D'sプランニング」を設立。

取組概要

- 農地中間管理機構を通じて農地を借りることで、会社設立時の農地面積2haを30haまで規模拡大。平成30年度の農産物(ブロッコリー、キャベツ、白ねぎ)の売上は1億6千万円。
- 制服(作業着)やホームページの作成にこだわりを持ち、今までの農業のイメージとは違う情報発信をおこない雇用の確保に努めている。
- 2018年ISO9001取得

取組成果

- 勤務体系はサラリーマン並みを目指し、早朝出勤した場合は夕方早く帰宅できるよう配慮されている。また、子育て世代のお母さんや年配の方でも作業ができるよう棚の高さや作業工程などが工夫することで女性スタッフが増えている。現在、正社員は10名、パートアルバイト15名、平均年齢24.5歳。
- 今年は地元高校生の会社見学の申し込みが去年を多く上回る数となった。



いずもし
島根県出雲市

コミュニティ部門

山口



島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

自然・景観

食育・教育

いずもしひかわとちかいらよく
No.2 出雲市斐川土地改良区

～見つけよう！今、元気なムラの取組～



保育園児と地元住民による植栽活動



遊水池での親子で生き物調査

取組経緯

- 将来の斐川町農業の担い手となる子供達に、出前授業、遊水池での生き物調査を実施し、農業を通じて生態系保全の重要性、食の必要性、農業用施設の役割を学ぶ。
- また、農業用施設に花苗の植栽活動を通じ、ふるさとである斐川町の農村風景を後世に残すことを目的とした。

取組概要

- 次世代を担う子供達を対象に平成12年度から出前授業、遊水池で行う生き物調査などを実施。
- 非農家も参加した水路の草刈りや泥上、子供達も参加した「花のまちひかわ」の活性化に向けた植栽活動、水路脇の親水公園を活用したホタルの育成を実施。
- 米米(まいまい)田んぼとして、給食用米の田植えや稲刈り体験を実施。

取組成果

- 施設の役割や農業の重要性などを伝える活動が、地域の誇り、大切に作る心を育むと先生方から高い評価を得て、食料自給率を学ぶ授業として毎年出前授業の実施を要望され、農業へ興味が沸き、将来農業を希望する児童も沢山出ている。
- 「花のまちひかわ」の活性化に向けた植栽活動は、地域内外の方々にも評価を得ており、地域の憩いの場の提供、活動の際に地域の繋がりを感じ、昔ながらの農村風景の和気あいあいとした活動が展開されるようになった。



みさとちよう
島根県美郷町

ビジネス部門

山口

★島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

ジビエ

移住・定住

6次産業化

かぶしきがいしゃ おおちやまくじら
No.3 株式会社 おおち山くじら

～「山くじら」と共に生きる～



(株)おおち山くじらスタッフとイノシン肉加工商品



地域の女性部による革製品の製作

取組経緯

- 山林面積が約9割を占める美郷町では、「イノシン」による農作物被害が深刻化。
- 厄介者であったイノシンを地域振興の視点で捉え、農家自ら狩猟免許を取得し、加工処理・ジビエ販売を担う組織として前身の「おおち山くじら生産組合」を設立。
平成29年7月には更なる体制強化のため株式会社化。

取組概要

- 町内で捕獲されるイノシンの約7割を集約し「おおち山くじら」という地域ブランド製品として確立し、全国へ販売展開。
- ポトフやカレーなどの6次産業化やイノシンの内臓は、ペットフード商品の原料などに活用。
- 次世代を担う子供たちへ自然との共存・共栄の大切さを伝える食育活動を実施。
- 革製品の制作により、女性・高齢者活躍の場の創出。

取組成果

- コラボ商品の開発等により、幅広く消費者から指示を受け、ジビエ商品の売り上げは順調に伸びている。
- イノシンによる農作物被害は年々減少。
- スタッフの大半は他地域からの「ターン」者であり、若者の就労の受け皿となっている。
- イノシンの皮を使った手縫い革製品の制作は、高齢者の「生きがい」になっている。
- マスメディアに取り上げられる機会も多く、視察者数や講演依頼も増加している。



おかやまし
岡山県岡山市

ビジネス部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

農・産・官・学
の連携

「食」の提供・
活用

地産地消

おかやまけんりつ おかやまみなみこうとうがっこうしょうぎょうくらぶ
No.4 岡山県立 岡山南高等学校商業クラブ

～「学」が繋ぐ「農」「産」「官」が連携した取組～



生徒デザインによる駅弁パッケージと商品中味

休校日を使って定期的に販売会を開催

取組経緯

○かねてより中国四国農政局とのコラボで取り組んでいた「米トレーサビリティ制度」の認知度向上事業を通じて、「学」が、「農」「産」「官」を繋いで包括的な取組にできないかと考えた。

また、日本の食料自給率を支える米の消費が落ち込んでいることから、米どころでもある岡山中、米主役の商品を開発し、少しでも県産米の消費量を引き上げたいと考え、活動を開始した。

取組概要

○米トレーサビリティ制度の勉強会を行い、制度の概要や社会的役割について学ぶ。

○「駅弁」を企画することを決め、地元企業「株式会社三好野本店」に製造を委託。

○農業が盛んな岡山県の特性を生かした、米だけでなく、様々な県産品を使った駅弁を開発し、発売までを実現。

○駅弁のパッケージにQRコードを使い、中国四国農政局HPの同制度の紹介画面に繋がる仕組みを作った。

取組成果

○定期的に生徒が店頭で販売会を行うなど、販売促進にも取り組んだ。その結果、販売が好調で売場が増設され、株式会社三好野本店の定番商品としてカタログ掲載。

○「岡山県高校生商業研究発表大会」最優秀賞、「中国五県高校生商業研究発表大会」優秀賞、「全国高校生商業研究発表大会」優秀賞(発表の部第1位、総合の部第2位)を受賞。



かさおかし
岡山県笠岡市

ビジネス部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

6次産業化

医療・福祉

高齢者の活躍

ごうどうがいしゃ

どこんじょうふぁーむ

No.5 合同会社 ど根性ファーム

～「農」がイノベーションのプラットフォーム～



座って作業できる環境を整備



カットネギの加工作業

取組経緯

- 福祉事業者の(株)創心會が、障がい者・高齢者が心身共に元気になり、再び生産活動を行うことができる場を創設したいと考え、生産活動の場として、笠岡市で「農業」を開始した。
- 平成24年、「ど根性ファーム」を設立し、本格的に農業に参入し、農福連携に取り組んでいる。

取組概要

- 通年栽培が可能な青ねぎを栽培。
- 障がい者・高齢者の作業の多様性創出と収益性アップのため、カットネギの製造に取り組み、6次産業化の認定を受ける。
- 生産から加工に係る作業工程において、座って作業ができる環境を整備するなど、働き手が作業しやすい環境を整備している。
- 季節により労働時間に差が生じないように、出荷量を調整している。

取組成果

- カットネギの製造等による収益向上から、就労継続支援B型事業所からA型事業所に移行することができ、障がい者・高齢者の雇用に繋がった。さらに、就労支援からど根性ファームへの一般雇用も実現できた。
- 福祉事業者が農業経験ゼロから農業を開始し、農業で障がい者雇用を産み、農福連携の一層の促進を図ることができた。



やかげちよう
岡山県矢掛町

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

★岡山

愛媛

香川

徳島

高知

「食」の提供・活用

地産地消

女性の活躍

みかわてらす

No.6 みかわてらす

～晴れの国の「陽気なピクルス」できました！～



陽気なピクルス



えんがわ食堂

取組経緯

- 過疎化・高齢化といった課題を抱える矢掛町美川地区の活性化が必要となっていた。
- 地域の資源を活用し、地域外に販売できる商品を開発し、地域の活性化に繋げようと、農業者・主婦・移住者等で構成された「Mikawa Terrace みかわてらす」が立ち上げられた。

取組概要

- 専門家のアドバイスを得ながら、地域内にある農産物を活用した商品の開発を行った。
- 商品のコンセプトは「フタを開けてすぐ野菜が食べられる」等、健康志向の高い女性をターゲットとした商品開発に取り組み、パッケージ等にこだわった「陽気なピクルス」を開発した。
- カフェ「えんがわ食堂」をオープンし、ピクルスを使った食事を提供している。

取組成果

- 日本ギフト大賞2017で岡山賞を受賞し、「陽気なピクルス」の販路拡大に繋がった。
- 「えんがわ食堂」で地元野菜やピクルスを使った食事を提供することにより、地産地消・地域の活性化に繋がっている。
- えんがわ食堂では、地元陶芸家の作品展示や体験イベントを行い、都市との交流を図っている。



ひろしま
広島県広島市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

★ 広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

自然・景観・
伝統・継承

食育・教育

女性・高齢者
の活躍

のうじくみあいほうじん よしやま

No.7 農事組合法人よしやま

～市中心部から30分に理想の田舎があった！～



農業体験教室



ミニ道の駅 Oishi吉山内野菜直売

取組経緯

- 平成17年に完了した農業基盤整備事業をきっかけに、法人の前身となる営農組合を設立。
- 地域内での話し合いの中で、農地と地域を守ることを主眼に経営の規模拡大や大型機械による生産性の向上を目指して平成17年に法人を設立。

取組概要

- 農業体験教室
- 地元企業との連携による、経営の安定化及び、地区の活性化
 - ・メーカーとの契約栽培
 - ・ミニ道の駅(Oishi吉山)の誘致
 - ・地区内レストランとの連携
- 地区内での積極的雇用
 - ・植え付け、収穫期に年間延べ2,000人のアルバイトを雇用

取組成果

- 農業体験教室では、地区の魅力に参加者に伝えることにより、ファンになった都市住民が米や野菜の顧客となり、農作物の有利販売に結びついている。
- 地元企業と積極的に連携し、販路を確保することで経営の安定化を進めている。
- ミニ道の駅内では野菜や米の販売の他、併設するレストランへの食材提供も行っている。吉山地区を訪れる都市住民が増加し、地区の活性化に貢献している。
- 地区内での雇用を積極的に行っており、地域の人達が農作業や話し合いの場を通じて交流が活発化したことで、地域においても、声をかけあい、支え合える「理想の田舎」となっている。



しょうばらし
広島県庄原市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

食育・教育

雇用

地域活力の
掘り起こし

愛媛

香川

徳島

高知

かぶしきがいしゃ しとうむらのうきち

No.8 株式会社 敷信村農吉

～地域ニーズのその先へ～小さな農が皆を繋ぐ～



農とともに、地域とともにある保育の実践



手作りチーズは高評価



自社トラックで、地域と都市部
を結び配達

取組経緯

- H18年当時、庄原市は、出生人口の減少により利用者が減少した複数の保育所を、統廃合した上で民間への運営委託を始めていた。
- その動きを受け、地域の有志が、統廃合の対象となった地元の保育所を自分たちで運営するための会社を設立。

取組概要

- 自社農場米や地元旬野菜を使用した給食の提供、園庭での野菜を栽培など、農が身近にある地域特性を生かした保育を実践。
- 農家所得の向上や地域内交流の活性化のため、H20年に野菜の販売や卸を開始。耕作放棄地を活用した自社農場もスタート。
- 「日本の酪農の礎を築いた地」であることを知った地域の若者の希望を受け、H25年にチーズ工房を新設。

取組成果

- 里山の恵みを生かした保育所運営に対し、視察や講演の依頼がある。
- 地場野菜は、広島市を中心に県内複数のスーパーや飲食店の利用に拡大。
- 耕作放棄地を活用した水稻栽培面積が拡大(H26年 56.9a → H30年 342.8a)。
- 地元牧場産生乳100%の手作りナチュラルチーズは、国内・国際コンクールで金賞を受賞する実力を持つまでになり、存在感のあるチーズ工房に成長。



きたひろしまちょう
広島県北広島町

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

★広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

農福連携

かぶしきがいしゃはあとらんどひろしま しゅうろうけいぞくしえんええがたじぎょうしょ

No.9 株式会社ハートランドひろしま(就労継続支援A型事業所)

～農・福連携、地域活性、みんな笑顔！～



養液栽培のハウレンソウと利用者



組合員交流会(トウモロコシの定植の様子)

取組経緯

- 生協ひろしまの組合員が安心して利用できる農産物を供給するためには、農業生産を身近に感じ、県内農業の実情を理解できる取組が必要と考え、農業に新規参入。
- 障がい者の雇用促進や社会参加を通じて地域社会での役割を果たしたいという思いで、農業と福祉の連携を始めた。

取組概要

- 省エネ・環境にやさしいフィールド養液栽培で、ハウレンソウを通年栽培。利用者が整地、収穫、選別、袋詰め等の全作業を行う。
- ミニトマト、大根、白ねぎ等をハウスや露地で栽培。ミニトマトは、各ハウスを担当制にし、利用者1名が責任を持って管理を行う。
- 組合員の家族が実際に農業を体験できる場として、組合員交流を年8回開催し、農業や福祉への理解を促進。

取組成果

- 耕作放棄地を借受けし、ハウスの養液栽培26aや露地栽培117aを生産管理。
- 就労継続支援A型事業所として、設立時(H23年)10名の利用者からスタートし、現在は18名に増加。H29年度から3名を一般就労へと送り出すことができた。
- 組合員交流では、実際に植付や収穫などを体験することで、農業への理解、福祉の取組への理解を図っている。(参加者 H26年 167名 → H30年 427名)



やまぐちし
山口県山口市

コミュニティ部門

山口	島根	鳥取
	広島	岡山
愛媛		香川
		徳島
高知		

**自然・景観・
伝統・継承**

その他(国産飼料の活用、堆肥の循環を含めた耕畜連携)

あきかわぼくえん
No.10 株式会社秋川牧園

～元気な飼料用米生産者と実現した地域循環～



年2回実施する、飼料用米検討視察会の様子

平成28年に完成した飼料用米保管タンク350t×2基

取組経緯

- 外国産飼料が体勢を占める中、安心安全な国産飼料の自給を目指して、平成21年、グループによる飼料用米栽培の取組をスタート。
- 当初、農家の賛同を得られるかは未知数だったが、専用品種モミロマンの力強さに表情が一変。農家の強いモチベーションに支えられ、取組は徐々に広がっていった。

取組概要

- 地元農家と飼料用米生産のネットワークを形成。米農家の技術を活用しつつ、グループで行う視察会を通じて栽培技術の向上と生産意欲を拡大。耕作放棄地を復活。
- 多収専用品種の飼料用米を給餌した鶏の堆肥を飼料用米の栽培圃場に投与し、理想的な循環型農業を実現。
- 飼料用米多収日本一コンテストへの応募。グループから平成29年の農林水産大臣賞(日本一)受賞を筆頭に毎年受賞者を輩出。

取組成果

- 主食用米の生産調整により落ち込んでいた生産意欲を飼料用米の生産に取り組むことにより解消。生産者が互いに切磋琢磨し、平成30年産では3農家が10a当たり1tの収穫量を達成し、全国平均を大きく上回り農家のモチベーションと技術が結実。
- 平成30年、飼料用米栽培面積が当面の目標である120haを達成。耕作放棄地の復活にも取組み農地の保全、食料自給率の向上に貢献している。
- 畜産事業者主導の飼料用米生産グループは珍しく、全国各地から視察団が来訪。



やまぐちし
山口県山口市

ビジネス部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

6次産業化

企業・地域住民・
大学との連携

女性・高齢者
の活躍

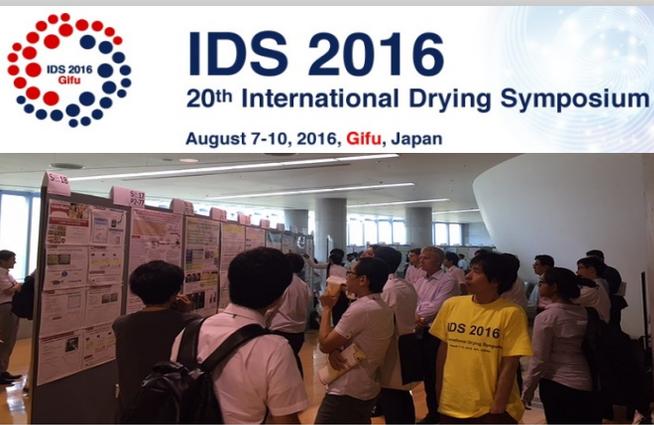
きはらせいさくしよ

No.11 株式会社 木原製作所

～国内初・乾物プロジェクトで“地域”創生！～



開発商品の合同販促体験



国際乾燥学会で事例発表

取組経緯

- 平成22年、山口市が新たな地域産業戦略の構想を開始したことを受け「乾燥技術」を地域資源として活用し、複数団体とのドライフード商品開発と圏域ブランドの構築を市に提案。
- 平成23年、乾燥食品の開発販売を軸とした国内初の地域振興事業「山口から“Kanbutsu”を発信。」プロジェクトが総務省で採択。

取組概要

- “地域創生”として企画立案、乾燥技術提供、試作品開発、パッケージデザイン提案、保存・販売アドバイス、商標登録実務までを無償で行い、市内事業者の商品開発をサポート。
- 事業者とともに、ドライフルーツ、漢方薬原料、和紙、パン、花のふりかけ、カレーなど、従来の乾物のイメージを覆す多彩な利用方法と商品を開発。

取組成果

- サポートした商品は、多様なメディアに取り上げられ、山口市の地域振興の取組や少量多品目の1次産品の認知度を向上させ、多様な産官学の連携を生み出した。
- 本取組をきっかけとして、平成24年に農林水産大臣から機械メーカーでは全国初となる「ボランティアプランナー」任命、平成27年皇太子殿下御視察、「国際乾燥学会（世界42か国300人の研究者が参加）」では本事業が注目を集めた。平成29年「はばたく中小企業・小規模事業者300社」選出。県・露友好協定をきっかけに新商品を展開。



ながとし
山口県長門市

コミュニティ部門

ROE

島根

鳥取

広島

岡山

環境保全・景観
保全

食育・教育

6次産業化

愛媛

香川

徳島

高知

とくていひえいりかつどうほうじん ゆやたなだけいかんほぞんかい

No.12 特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会

～ゆや棚田 魅せて! 教えて! 虜にさせて!～



全国棚田サミット150日前イベント:耕作放棄地再生農地へのハーブ入植



夏休み宿題お助けツアー:昆虫とれ～る

取組経緯

- 全国棚田100選の選定地域であるが、高齢化・過疎化が進行し、耕作放棄地が増え棚田景観の維持・保全が困難。
- 長門市棚田保護条例が制定され、地域での6次産業化やグリーンツーリズムへの気運の高まりをきっかけに設立。棚田保全計画を策定し、棚田景観の保全・継承に取り組む。

取組概要

- 耕作放棄地を無償で借り受け、さつま芋や景観作物の植付、ハーブの植付による鳥獣害対策など、棚田の保全活動を実施。
- 小中学生を対象とした花香づくり・昆虫トレール教室、いも掘り体験の受入など、体験教室を開催。

取組成果

- 先人が守ってきた、棚田の景観保全を地域住民参加により実施することで、地元に対する愛着心や地域の和が生まれた。
- 棚田や地域資源を活用したイベントを行い、都市住民と農村の交流を促進する事で、地域の活性化が図られた。
- 交流カフェの開設で、高齢者が集まれる場所として、健康福祉へ寄与。



とくしま
徳島県徳島市

ビジネス部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

6次産業化

輸出

企業との連携

かぶしきがいしゃのうかそむりえーず
No.13 株式会社 農家ソムリエーズ

～なると金時世界ブランドプロジェクト～



マレーシアプロモーション



なると金時チップス おさっち。

取組経緯

- 約20年前と比べ、「なると金時」の作付面積が減少し、販売単価も下落した。
- 地域単位で行っていた産地形成や販売について、産地連携によるメリットを構築する必要があると考え、産地の収益性向上のため「株式会社農家ソムリエーズ」を設立した。

取組概要

- 香港、台湾、マレーシア等のアジア圏へ輸出を行い、県や地域商社と連携し、現地でイベント販売とプロモーションを実施。
- サツマイモチップス「おさっち」を開発・販売。自社生産した「なると金時」を使用し、生産、加工及び販売を行う6次産業化を実現。
- 地域の子どもたちに栽培体験を通じた食育の推進。

取組成果

- 「なると金時」の輸出を開始した2015年は、輸出量0.3t、輸出金額10.8万円であったが、2019年には輸出量100t、輸出金額3,600万円(見込み)に増加した。
- サツマイモチップス「おさっち」の販売を開始した2015年は、販売数2万パック、販売金額200万円であったが、2019年には、販売数12万パック、販売金額1,200万円(見込み)に増加した。



あわし
徳島県阿波市

ビジネス部門

食育・教育

企業との連携

持続可能な農業に
向けてGAP取得

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島★

高知

ごっつおあわ
No.14 GOTTSO阿波

～野菜の力で町おこし！めざせ東京オリパラ！～



2019年度PR用ポスター



小学校での食育「ナスにいい虫・わるい虫クイズ」

取組経緯

- 「GOTTSO阿波」は阿波市の農業後継者が中心となって、平成24年に阿波市観光協会の所属グループとして発足。「まちのPR隊」として活動。
- ナスの消費量は減少傾向。子供たちに好きになってもらうため、クセのないひすいナス「美～ナス」の栽培を始める。
- 「平成28年度とくしま特選ブランド」に認証される。

取組概要

- GOTTSO(ごっつお)とは阿波弁で「ごちそう」という意味。野菜の出張販売や広報などを行い、農業の盛り返しを図る。
- 「美～ナス」を使い、幼稚園や小学校での食育を通じて、消費量増加への取組を行っている。
- 「グローバルGAP」、「とくしま安2GAP農産物」認証の優秀認定を取得し、東京オリンピック・パラリンピックの選手村に「GOTTSO美～®ナス」の納品を目指す。

取組成果

- 自分たちが生産した野菜の価値を見直し、「野菜の力でまちおこし」という目標で関西圏、関東圏への出張販売や広報を幅広く行い、地域の活性化に一役買っている。
- 甘くて柔らかい果肉のひすいナス「美～ナス」は、加熱するとトロリとした食感になることから、ナスが苦手な子供にも「おいしい！」と好評。食育を通じ農業を身近な職業として感じてもらい、野菜の消費拡大に貢献している。
- 多くの人との出会い・交流が生まれ、会員の視野はどんどん広がっている。



たかまつし
香川県高松市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

耕種農家と畜産
農家の耕畜連携

6次産業化

ゆうげんがいしやあかまつぼくじょう

No.15 有限会社 赤松牧場

～ 耕畜連携と6次化で地域とともに発展～



堆肥を利用して栽培したトウモロコシの収穫



ジェラートショップ

取組経緯

- 経営の規模拡大と安定化を図るため、平成15年に法人化。また、平成22年に自家製牛乳を利用したジェラートショップを開設し、6次産業化にも取り組む。
- 平成27年から米価下落の対策として耕畜連携による稲WCSの栽培を実施し、平成30年からはトウモロコシの試験栽培に取り組む。

取組概要

- 赤松牧場が堆肥を供給した圃場で、耕種農家が稲WCSを栽培し、生産した稲WCSを飼料として畜産農家へ供給。平成28年にWCS生産組合を設立し、平成30年には耕種農家14名で、栽培面積を20haまで拡大。
- 堆肥調整保管施設の整備等を実施し、耕畜連携の可能性を拡大。
- ジェラートショップは地産地消のため、近隣農家のブドウ・イチゴ等を仕入れて利用。

取組成果

- 耕畜連携の拡大は、耕種農家の収益等の向上、畜産農家の飼料コスト低減や飼養規模の拡大となり、相互にメリットがある取組みとなっている。また、地域の相互交流で、地域が一体となって農業を盛り上げようとする気運が高まっている。
- ジェラートショップの運営は、耕畜連携の拡大を進めており、さらなる環境整備や安全・安心な牛乳生産に活かされている。



たかまつし
香川県高松市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

環境保全・景
観保全

伝統の継承

教育機関との
連携

かがわようすいとちかいりょうく

No.16 香川用水土地改良区

～いのちの水・友情の水を大切に守ろう！～



香川用水幹線水路・開水路区間



香川用水記念会館 外観

取組経緯

- 香川用水記念会館の移転整備を契機に、香川用水の恩恵と水源地域への感謝の気持ちをこれまで以上に県内外の方々に広く伝える。
- 地域住民を巻き込んで香川用水や香川用水施設の大切さ等の理解を醸成する。

取組概要

- 平成29年7月に香川用水記念会館の移転整備を行い、新たな記念会館を拠点とする情報の発信。
- 小学4年生を対象に出前授業を開催し、併せて香川用水施設の見学と幹線用水路内の清掃作業を実施。
- 幹線用水路(59km)について、地域住民のボランティアに巡視員を委嘱し、地域住民と一体となった施設巡視体制を構築。

取組成果

- 小学校を対象とした出前授業等は授業内容などが分かりやすいと好評を得て、広範囲の小学校から出前授業の要望があり、水の大切さの理解を深めた。
- 非農家や主婦を含めた多様な主体がボランティアで香川用水施設巡視員として、水利施設の維持保全に尽力していただくことが、安定した香川用水の配水につながっている。



とのしょうちよう
香川県土庄町

ビジネス部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

農林漁業、農
村文化体験

食育・教育

教育機関との
連携

しかいぎょぎょうきょうどうくみあい
No.17 四海漁業協同組合

～厄介者を高級品に！小豆島の鰹を売り出せ！～



小豆島島鰹まつり・初出荷式



京都産業大学との連携

取組経緯

- 昨今の少子高齢化・魚価低迷による収入の不安定化等により次世代を担う後継者不足が問題となる。
- 小豆島や香川県では、鰹を食べる文化が無いため、安価で取引されていた。高価格で取り扱われている関西に出荷することで、漁業者の所得向上を目指した。

取組概要

- 「小豆島 島鰹」を名乗るため、4つの基準を設け、他地域との差別化を図る。
- 島内業者が水揚げしたハモを共同出荷することにより安定した品質・出荷量を確保。
- 加工品の開発を可能とするため、ハモ骨切機、大型真空包装機等を導入し、骨切を行ったハモの販売(1次加工品)に取り組む。
- 京都産業大学と連携し、情報発信を強化。

取組成果

- ハモを食べる文化がある関西に出荷することで高価格で取引され、漁業者の所得が向上。現在では、新たなブランドとして認知され、小豆島島内の飲食店やホテルからの問い合わせが大幅に増加。また、ふるさと納税の返礼品として扱われ、定着が図られている。
- 流通、加工、PRと産官学で連携し、順調に事業は拡大している。



うわじまし
愛媛県宇和島市

コミュニティ部門

山

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

6次産業化

復興

かぶしがいいしゃ たまつかんきつくらぶ
No.18 株式会社 玉津柑橘倶楽部

～復興 玉津みかん～



被災直後のみかん園地



玉津オリジナルみかんジュース

取組経緯

- 平成30年7月豪雨により、当地区の産業である柑橘は出荷も出来ないほどの甚大な被害を受けた。
- 復旧、復興に向け玉津産地が一体となって難局を乗り越えるため、若手後継者が中心となる窓口として(株)玉津柑橘倶楽部を設立し、復興に向けた取り組みを開始。

取組概要

- 被災直後、玉津クラウドファンディングを立ち上げ、全国からの義援金はスプリンクラー施設の補修費に充当。
- ボランティア、アルバイトの受入れには宿泊施設が無いため受入人数に制約があったが、JAえひめ南と連携し研修施設を開設。
- 生産者の所得向上を目的に、みかんや宇和ゴールド(河内晩柑)のジュースを商品化。

取組成果

- クラウドファンディングの取組により「玉津みかん」のファンを新たに獲得する事が出来た。
- 研修施設「たま家」を開設したことで、長期滞在による受入が可能となり、受入を継続することでIターンによる移住や新規就農者の育成、確保が期待出来る。
- ジュースの商品化による6次産業化に取り組むことで、産地ブランドの向上に貢献。



しまんとし
高知県四万十市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

★ 高知

伝統の継承

6次産業化

企業との連携

みちのえきよってにしとさ かぶしがいいしやにしとさふるさといち
No.19 道の駅よって西土佐(株式会社 西土佐ふるさと市)

～希少な四万十川天然鮎の価値を未来に！～



日本で唯一鮎市場のある道の駅



イタリアのスターワイナリーと協定を結ぶ

取組経緯

- 最後の清流と呼ばれる四万十川。そこで取れる天然鮎は、美しい四万十の自然の象徴。
- しかし、漁師の減少、鮎の減少等、四万十川・天然鮎を取り巻く課題は年々深刻化。
- 環境と経済の両面から天然鮎と四万十川の価値を更に高めることで未来の世代に繋げる活動を2016年から開始。

取組概要

- 新たな名物として、地域の食文化を尊重しつつ「洋」を取り入れた、四万十天然鮎を使った「鮎のコンフィ」を開発。
- 生きた鮎を築地市場へ運ぶための品質管理、流通技術・管理を開発。現在天然活魚を豊洲市場に送っているのは四万十川のみ。
- 上流から下流まで「全漁協による四万十鮎ブランドプロジェクトチーム」発足。

取組成果

- 活動を通じて鮎の価値を再認識。事業体を超えて関係者が一丸となり、鮎以外の地場産品の価値を再発見する取組に進展。
- 天然うなぎでワインを楽しむイタリアのコマッキオとフレンドシップ提携を締結。また、鮎のコンフィに合うワインの産地であるフランスにもアプローチする中で、四万十川の価値復活に賛同してくれる外部の仲間と、川の価値、鮎の価値の向上、若手の未来開拓に挑戦する流れが生み出されている。



いのちよう
高知県のいの町

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

★知

環境保全・景
観保全

高齢者の活
躍

その他(関係
人口の拡大)

のうじくみあいほうじんじょうとう
No.20 農事組合法人 上東

～協定合併による農地の維持管理体制の構築～



農事組合法人上東 設立総会



収穫期を迎えた棚田

取組経緯

- 平成12年度から集落ごとに取り組んでいた中山間地域等直接支払制度を平成21年度に地域で一つに統合。
- 地域の農地維持の核組織「上東地区営農組合」を平成21年に設立。荒廃農地を再生し、地域の農地を守る活動を開始。

取組概要

- 集落営農組織主体で機械の共同利用や農作業の受託に取り組む。有望品目研究部門を設立し、全組合員が野菜作りに親しむ環境を整備。
- 何度も協議を重ね、平成31年1月に「農事組合法人上東」を設立し生産体制を強化。
- 3月末のカタシの花祭り時期に合わせ住民手づくりのイベントを開催し、都市住民との交流を図る。

取組成果

- 共同機械の利用面積の増加(H21年7.6ha→H29年35.1ha)。
- 新規作物(ニラ、加工用ワサビ等)の面積拡大(H21年1.3ha→H29年2.1ha)。
- ユズ栽培により耕作放棄地の発生防止。
- 「カタシの花祭り」の開催を通じてミュージシャンの山村誠一氏とつながり、共同でPAN(スティーλπ)の学校運営開始。地区外の上東地区ファンが増加。



ゆすはらちよう
高知県梶原町

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

★ 高知

ジビエ

しゅうらくかつどうせんたーゆすはらにしすいしんいんかい
No.21 集落活動センターゆすはら西推進委員会

～地域で取組む捕獲鳥獣をお金に換える仕組み～



新設した解体処理施設と日本初導入ジビエカー

「ゆすはらジビエ」が広がっています

取組経緯

- 鳥獣駆除に迫られる猟師の意欲減退や担い手が少なくなっている現状、さらには、このままでは先人から引き継いだ農地や森林を守っていけないという危機感から、駆除から産業への転換を図り人も物もお金も循環する活力ある地域づくりを目指してNPO法人を設立し活動を開始した。

取組概要

- 獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入（平成29年度）
- 上記の運営者となる特定非営利活動法人ゆすはら西を設立（平成30年3月）
- 鹿の捕獲は多いが町中心部から遠い松原区を中心にジビエカーを運用することで、解体処理施設への円滑な搬入を実施。
- 元ゆすはら応援隊員や移住者等の担い手人材を雇用（平成30年4月）

取組成果

- 獣肉解体処理施設稼働1年目にして搬入計画頭数を達成し、ジビエの安定的な供給を強みとして販路拡大につなげている。
- 自立を目指し自分たち自身が動かなければという思いで取り組んだことが評価され、自分たちの気づきや自信につながった。



あきたかたし 広島県安芸高田市

個人部門

山 口	島根	鳥取
	広島	岡山
愛媛	香川	徳島
	高知	

若者・学生の 活躍

ほんだ まさき

個人-1 本多 正樹

～点から線そして円(縁)に...未来を見据えて～



配食弁当でこだわりのお米を提供しているほ場

JA広島北部ひろほく農考会が市の功労賞を受賞

取組経緯

- 農地、文化、景観を維持・継承していくためには、1人の活動では難しいと気がつく。
- そこで、同世代から若年者たちに目を向け、きっかけ作りとして点在している人を線で繋いで円(縁)になるような環境作りができるようになればと考え、多様な活動を展開。

取組概要

- 農地中間管理機構を活用し、担い手間で農地を交換。
- 新規、若手農業者の横の連携を主軸に「新規就農者激励会」というイベントを立ち上げ、若者が地域で活動している事例を発信。
- 地元JA管内の若手農業者グループ「ひろほく農考会」の初代会長。地域の農業をあらゆる角度から考えるため、視察や意見交換などの活動に取り組む。

取組成果

- 人・農地プランの見直しに当たり、地域や他の担い手農家と連携を取り、担い手間での農地の交換による分散錯ほの解消に努めた結果、経営の効率化や規模拡大に繋がった。(H26年 22.2ha → H30年 47.3ha) 近隣農家・法人にも集積の効果が表れている。
- 10年前の設立時に25名からスタートした「ひろほく農考会」は、現在メンバーが約50名になり、湯崎広島県知事と意見交換会をするなど、地元の認知度も増し、農業に活気が出てきている。



つるぎちよう
徳島県つるぎ町

個人部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

★徳島

高知

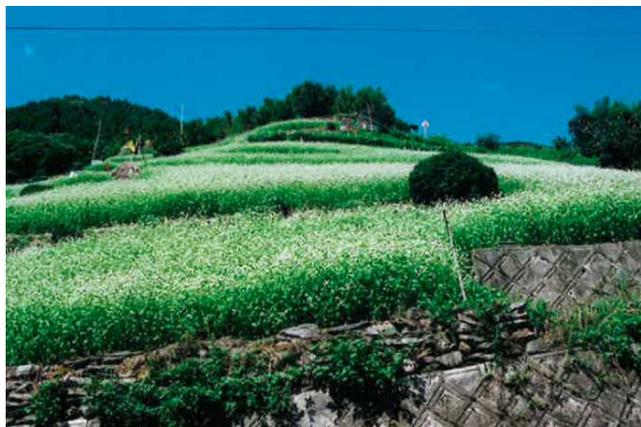
**農林漁業、農
村文化体験**

伝統の継承

**教育機関との
連携**

にしおかだ はるき
個人-2 西岡田 治豈

～世界農業遺産の農耕と伝統を守る～



花咲くソバ畑



歌いながら「立てずき」で庭先を叩く小学生

取組経緯

○県西部4市町に伝統的に続く「にし阿波の傾斜地農耕システム」の世界農業遺産への登録申請を契機に、平成26年頃から「急傾斜地農耕を実感し、伝統的な農耕行事も楽しんでもらい、次世代に繋いでいきたい」という思いで活動を始めた。

取組概要

○標高300^{メートル}、傾斜30度の急傾斜地の畑20^{ヘクタール}で栽培しているソバの花が満開の毎年9月下旬から10月中旬に観光農園として一般開放し、急傾斜地農耕を実感してもらっている。
○平成27年、旧暦10月の最初の亥の日に行われる地域の伝統的農耕行事「お亥の子さん」を、地域の小学生とともに25年振りに復活させた。

取組成果

○人口減少等が課題となっている集落に明るさを取り戻している。
○在京、関西及び県内の大学生が体験学習で訪れるほか、平日でも外国人を含む多くの人が訪れる。テレビ局や新聞社も取材に訪れ、観光農園の訪問者数は、取組開始当初のH26年は60名程度であったがH30年には152名となった。
○次世代に「お亥の子さん」の伝統行事が伝承されるよう、毎年地域の小学生の参加を得て取り組んでいる。



たかまつし
香川県高松市

個人部門

山口	島根	鳥取
	広島	岡山
愛媛	香川	徳島
高知		

農福連携

あべ たかひろ
個人-3 阿部 隆弘

～障がい者と農業者の架け橋として～



平成30年度 農作業支援強化研修会・琴平

プラグポットの洗浄作業・観音寺市

取組経緯

- 平成20年頃、県内農家の高齢化が進み、後継者不足のため、作付面積が減少した。また、障がい者は受託作業の減少や自主製品の販売不振から収益が減少した。
- 平成23年にNPO法人が共同受注農作業システムを活用し、農業収益の増額と障がい者の工賃向上を目的とした活動を開始した。

取組概要

- 平成27年に担当コーディネーターとなり、にんじくの定植時期の人員不足を解決した。
- JAと障がい者の工賃値上げ交渉を行い、単価の値上げ、休日の割増賃金及び交通費の支給を実現した。
- 市町と連携して障がい者就労施設を対象とした参入促進説明会や技術研修会の開催、農福連携による農作業の説明マニュアルの作成を行った。

取組成果

- 障がい者の作業工賃、延べ作業人数、延べ参加施設数を毎年増加させることができた。
- 県内の農家から、障がい者施設の労働力がなくてはならないと厚い信頼関係を築いた。